

内閣府沖縄総合事務局 R1後期防災通信訓練 実施場所

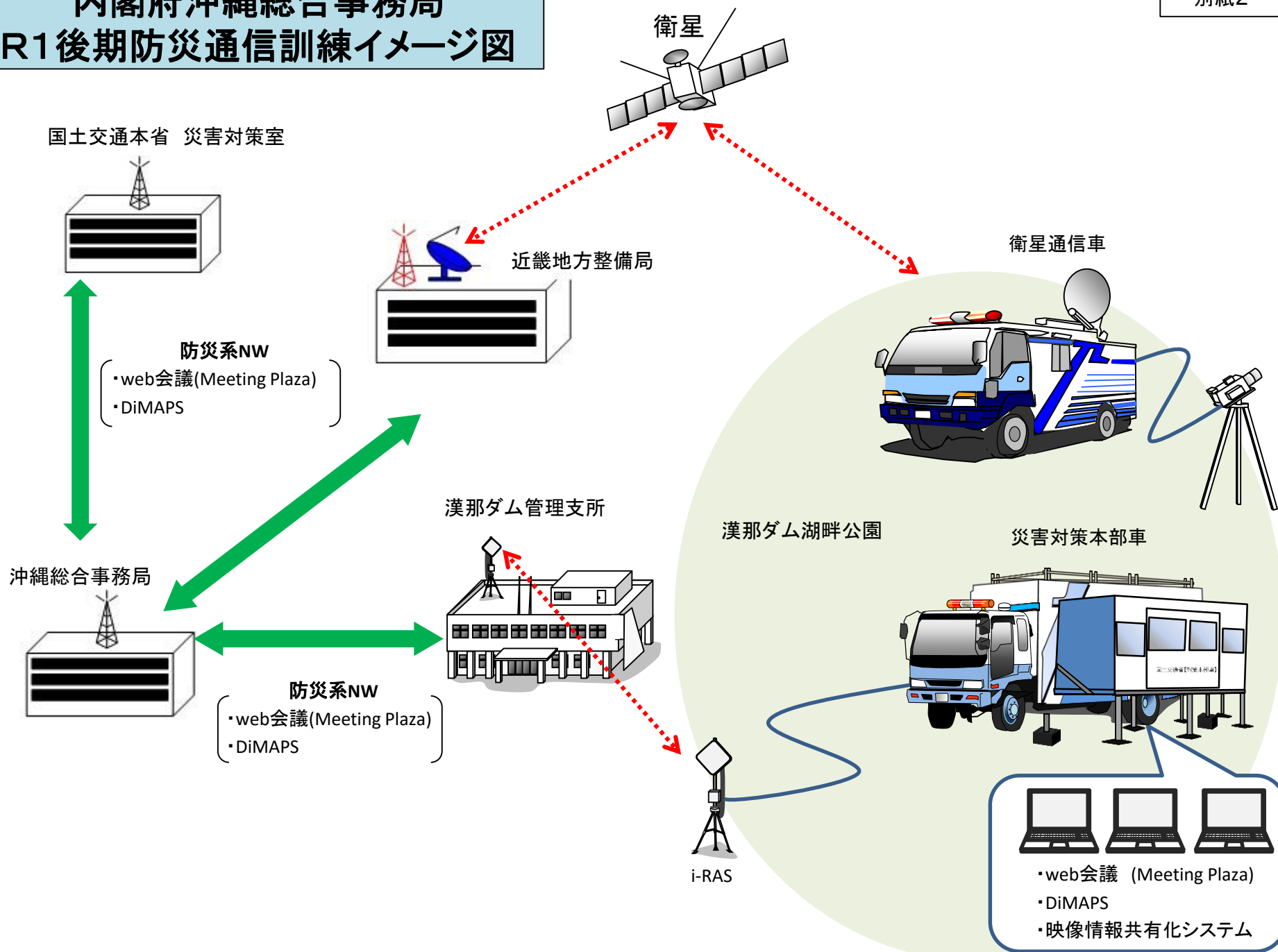
別紙1



漢那ダム湖畔公園にて訓練を実施

内閣府沖縄総合事務局 R1後期防災通信訓練イメージ図

別紙2



内閣府沖縄総合事務局 R1後期防災通信訓練 使用機材

別紙3

災害対策本部車	衛星通信車	i-RAS (5GHz帯無線アクセスシステム)	統合災害情報システム (DiMAPS)
			
<ul style="list-style-type: none"> ・被災現場の近傍において、より迅速な情報収取、現場指揮を行うことを目的に現場対策本部を設置する際の拠点施設として活用しています。 ・車両内では、関係者等による情報共有や対策会議が行えるようになっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・赤道上空、約36,000km に位置する静止衛星を利用した衛星通信を行う施設です。 ・車両に通信機材を搭載することで、機動性を確保し、災害発生時には被災地等で、迅速に通信を確保するとともに、映像や電話などのデータ通信を行うことができます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5GHz帯無線アクセスシステムは、1対向で構成され、画像伝送やメール、Web会議などを利用できる無線通信装置です。 ・災害時の臨時回線として活用することが期待されます。 ・Integrated network Radio Access System 頭文字をとってi-RAS(アイラス)と呼んでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・DiMAPSは、地震や風水害などの自然災害発生時に、いち早く現場から災害情報を収集して、地図上にわかりやすく表示することができるシステムです。 <p>http://www.mlit.go.jp/saigai/dimaps/index.html</p>